

第9次総合計画と 過疎地域持続的発展計画の推進

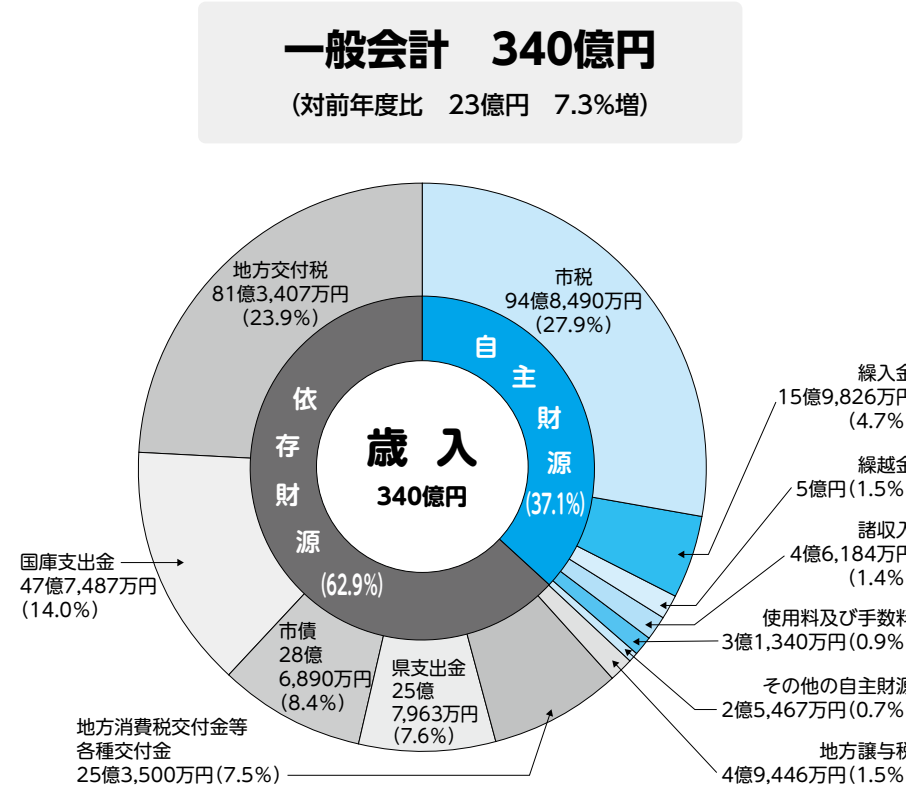
財政課（88）9121

令和5年度は、市の最上位計画である「第9次総合計画」を着実に推進するとともに、2年目となる「過疎地域持続的発展計画」に沿った地域づくりを進めていくことを基本に予算を編成しました。

一般会計予算額は
340億円

予算額は、前年度に比べて、23億円（7・3％）の増額となりました。

予算額の大きなものは、障がい者福祉サービス給付等事業や児童手当給付事業などの社会保障関連経費です。



●各会計別当初予算の比較表

年度と比較		令和5年度	令和4年度	前年度比
会計名称				
一般会計		340億円	317億円	7.3%
特別会計	市営墓地事業	4,095万円	3,424万円	19.6%
	特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	591万円	550万円	7.5%
	中宿財産区	579万円	582万円	△0.5%
	小塩江財産区	957万円	1,097万円	△12.8%
	西袋財産区	1,111万円	1,110万円	0.1%
	長沼財産区	376万円	413万円	△9.0%
	国民健康保険	75億1,482万円	76億3,905万円	△1.6%
	介護保険	70億4,085万円	69億8,930万円	0.7%
	後期高齢者医療	8億8,047万円	8億4,279万円	4.5%
計		155億1,323万円	155億4,290万円	△0.2%
合 計		495億1,323万円	472億4,290万円	4.8%



地域住民が集まり、防災意識を高めた「西袋防災フェスティバル」

●第9次総合計画と過疎地域持続的発展計画を推進する主な事業

区分	事業名	予算額
ハード事業	体育施設改修事業	2億6,361万3千円
	交通安全施設整備事業	1億6,879万8千円
	防犯灯設置事業	623万6千円
ソフト事業	移住・定住促進事業	3,023万円
	自治体行政スマート化推進事業	2,356万2千円
	総合交通対策事業	1,896万1千円
	生活支援体制整備事業	1,286万円
	空家等対策事業	1,138万9千円
	地域コミュニティ活性化推進事業	1,055万6千円
	明るいまちづくり事業	704万2千円
	地域の宝創造プロジェクト事業	610万円
次世代型農業推進事業		217万2千円

●市民1人当たりの主なサービスの内訳

議会費 3,832円	総務費 51,940円
民生費 162,810円	衛生費 38,402円
農林水産業費 商工費、労働費 31,367円	土木費 46,475円
消防費 18,258円	教育費 53,252円
公債費 45,514円	▶人口 74,485人 ▶世帯数 30,317世帯 ※令和5年3月1日現在の住民基本台帳による

●市民の負担と市民サービス

【市税負担】

1人当たり	127,340円
1世帯当たり	312,858円

【市民サービス】

1人当たり	456,468円
1世帯当たり	1,121,483円

ひとくち財政用語メモ

歳入編

歳入 1年間の全ての収入

自主財源 市税など市が自主的に確保できる収入

依存財源 地方交付税や国庫支出金など、国・県の基準に基づき収入

市税 個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など

地方交付税 地方公共団体の標準的なサービス水準を一律に保つための国からの交付金

国庫・県支出金 国や県から特定の事業費の一部として交付される補助金など

市債 施設の建設や土木工事、災害復旧工事など、多額の費用を必要とするとき、その一部に充てる国などからの借入金

歳出編

歳出 1年間の全ての支出

民生費 障がい者福祉、老人福祉、児童福祉などに要する経費

教育費 幼稚園、小・中学校、文化財保護、生涯学習などに要する経費

総務費 税金の徴収、コミュニケーションセンターの運営、選挙、戸籍、統計、財産の維持管理などに要する経費

土木費 市道の舗装や側溝の整備、公園や市営住宅の管理などに要する経費

公債費 市の借入金である市債の返済に充てる経費

衛生費 公害対策などの環境保全、ごみの処理や減量対策、母子保健事業、各種健康診査や予防接種など、市民の皆さんの健康で衛生的な生活環境を維持するための経費

農林水産業費 需要に応じた米の生産、農地の賃貸借、農道の整備、農業団体への支援などに要する経費